



3がつ

はと・ほし・つきぐみだより

昨年今の時期を思い出すと、まだ何もわかっていないコロナウイルスに不安でいっぱいの日々を過ごしていました。今まで普通にできていたことやあたりまえのことが思うように出来ず、悔んだり悲しんだりの日々。保護者の方には御心配、御迷惑をおかけしました。対策やウイルスについての情報がしっかりしてきたこともあり、子どもたちも感染予防の意識が高くなり、手洗いや消毒、マスク着用等が子ども自身の考えできちんと出来ていることに感心しています。今年度も残り2週間となりました。トランプやカードゲームなどは保育教諭を頼ることなく、異年齢の子どもたちで遊ぶ姿がみられます。子どもたちの思い出がたくさん増えると嬉しいです。今年度、たくさんのご協力ありがとうございました。コロナの関係で送迎時にお話があまりできなかったのが残念でしたが、これからも子どもたちの成長と一緒に見守っていきたいと思います。一年間ありがとうございました。

以上児クラス 石井・長谷部・出野・桑野・金崎



おわかれ遠足



3月5日、おわかれ遠足がありました。前日の雨が朝方まで残っていたこと、路面がすべりやすくなっていたこともあり、予定していた吹上神社・こども公園にはいかず、渡里の新しくできた公園まで行きました。つきさんははとぐみさん、ほしさんはももぐみさんとペアになり、リードしながら歩きました。園から片道1キロ程でしたが、お互いのペースに合わせて、待ってあげたりと…。ペアがいるということで相手に対する思いやりの気持ちが生れたり、相手の立場にたつという道徳性が育っていきます。

つき組給食センター見学



小学校の楽しみの一つである、給食。つき組さんが給食センターに行き、実際に作っているところを見学しました。大きなお鍋の中が見えたので、何を作っているのかを「ちやいろいね」「にんじんがみえるよ」「しめじみえた」…と。何を作っているのか想像していました。小学校の名前が記入された容器を見つけ、「あー、私が行く小学校の名前だ！」と大喜び。期待感で満ち溢れていました。園までの帰り道の途中で園長先生のお寺(空性寺)があります。寄ってお参りをするようになりました。初めて踏み入れる場所。園の、のの様とは大きさも違う。ひんやりとした空気。お線香の匂い。園長先生のいつもの雰囲気とは違うお経を読む声…。なんともいえない表情をした子どもたち。何かを言われたわけではないのに、正座をし目をつむり手を合わせていました。貴重な体験ができました。



ひな祭り製作

以上児クラスみんなで一緒にひな祭り製作で顔はめパネルをつりました。いつもお部屋で空き箱を使って何かしら作っている子どもたちです。様々な素材を使って、切って貼って…。雛飾りの写真を見えるところに貼っていたので見ながら真似して作ったり、お家に飾ってある雛飾りを思い出し、お友達とおしゃべりしながら、イメージを膨らませていました。出来上がり、顔を出して写真を撮りました。お内裏様、お雛様どちらでもいいよと言っていたのですが、お友達を誘って、自分の好きな方から顔を出していて、照れた顔がとてもかわいかったですよ。

もも組さんが以上児クラスで活動し過ごしています！

つき組さんがもも組の部屋で

ラQやレゴ、オセロに文字のお稽古、スタンプなど、自分がやりたい事を決めて遊んでいます。つきさん、いるの？と思うぐらい集中して黙々と活動しています。



共同作品



戸惑ったり、甘えるもも組さんに優しく声をかけたり、着替えの手伝いをしてくれるはと組、ほし組の子ども達。優しく頼もしいお兄さん・お姉さんに「さすが！助かるよ。」と先生達が声をかけてくれるので、嬉しそうです。



登園時、もも組の部屋の前で、他のクラスのお友だちを見送るつき組さん。すみれ組さんやはと組さんがお母さんと離れ悲しそうな表情しているのを見て、「お部屋まで一緒に行こう」と声をかけたり、荷物をもってあげたりして、部屋まで一緒に行っています。

各クラスの先生方がつき組さんにお楽しみ会を企画してくれました。

- ひよこ組さんー●ふれあいあそび●おひるねトントン
- すみれ組さんー●えのぐあそび●ねんどあそび●じゃんけんれっしゃ●てがたあそび
- もも組さんーおさんぽ
- しょくいんしつせんせいー●おみせやさんごっこ●ころがしドッチボール

つきさんはこの企画の中から1人2つ選びます。日付、時間や人数制限が決まっています、考えに考え、選んでいましたよ(#^_^#)



はと・ほしさんは大好きなつきさんにプレゼントを作っています。ほし組さんは最近文字に興味があり、名前を書いています。

子どもを園に送迎する時間は6年間で、どのくらいでしょうか？送迎時間15分×月の保育日数23日×12ヶ月×6年間＝(笑) 当たり前なことだけど時間にしたら相当なものです。私は住んでいる地域上、娘の高校への通学は私の送迎でした。今は二人とも卒業して私の側にはいません。そして今思うのが、あの6年間の車の中の共有時間は本当に貴重でした。もう二度と感じる事は出来ません。朝夕のお子さんとの車の中の時間。DVDや携帯の音・音よりも、お父さん、お母さん、お子さんの笑い声、微笑みでいっぱいの空間になってほしいと思います。